

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
糸島市地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糸島市地域公共交通網形成計画における評価・検証 ・地域内の公共交通に関する現況調査(問題点の整理) ・アンケート調査 ・糸島市地域公共交通計画(案)のとりまとめ ・協議会開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基礎的データの整理、既存の交通網形成計画の進捗状況の把握、 ●市民アンケート、公共交通利用者ヒヤリング、移動サービス事業者・公共交通事業者ヒアリングなどにより、公共交通の状況を整理した。 ●上記調査結果等に基づき、将来的に持続可能な地域公共交通ネットワーク構築に向けた課題や問題点を整理するとともに、公共交通の活性化・再生に向けた取組の方向性を検討した。 ●上記等の結果及び上位計画等を踏まえ、糸島市地域公共交通計画の素案を作成。 ●協議会(交通会議)3回実施(今後、2～3回実施予定) 	A	<p>◆市民の日常生活(特に高齢者等交通弱者)を支える持続可能な公共交通の構築を目指す。</p> <p>○市域を東西に貫くJR筑肥線を本市における公共交通の基幹軸として位置づけ、JR筑肥線を軸に路線バス(幹線系統)・コミュニティバス(フィーダー系統)等により、駅等拠点施設へのアクセスを補完し、公共交通ネットワークを形成することをベースとする。</p> <p>○バス路線に関しては、各運行方式の利点を生かし、生産年齢人口の移動(通勤通学)が多い時間帯は、路線バス等定時定路線運行を、高齢者等の移動が多い時間帯である日中は、面的にカバーできるオンデマンドバスを運行させる等、路線やエリアの特性等に応じて、複数の手段を組み合わせや、オンデマンドバスと既存路線との接続等により、利用しやすい交通体系を構築する。</p> <p>主な想定エリア：市南部(怡土・雷山校区)、市街地循環線、志摩スカイタウン周辺等</p> <p>○上記の他、令和5年7月供用開始の運動公園や九州大学周辺の国際村構想の進捗状況、道路整備状況なども踏まえながら、ルート、便数・ダイヤの見直しを行う。</p> <p>○現在路線バス等が運行していないエリアについては、校区の活力を生かした自主運行バスを主体とした運行を維持するとともに、多様な輸送サービスの活用を引き続き検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。 ・今回の調査で整理された糸島市における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。 ・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、糸島市の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。 	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定等に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
久山町地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久山町における公共交通の現況と課題整理 ・住民アンケート調査、高校生アンケート調査、グループインタビュー調査 ・イコバス乗り込み調査 ・トリアス従業員向けアンケート調査 ・久山町に適した公共交通計画の検討・策定 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現況調査により、久山町の人口は今後も微増傾向にあり、高校生・高齢者も増加すると予測されている。 ・乗り込み調査により、イコバス幹線系統は通学利用者が多い路線(高校生)、町内巡回は通院・買い物利用者が多い路線(高齢者)となっていることを把握した。 ・グループインタビュー調査により、子育て世代は、「公共交通の利用促進による送迎負担の軽減」、シニア世代は、「交通空白地への対応」「分かりやすい情報提供」、高校生は、「接続改善」「公共交通の学習機会の提供」が課題となっていることを把握した。 ・事業者ヒアリング調査により、事業者は全般的に厳しい状況、利用促進策などでの協力・支援が必要であることを把握した。 ・調査結果を踏まえ、地域に適した交通体系について検討し、協議会に諮るための計画素案を作成。 ・パブリックコメントを経て、地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。 	A	<p>地域公共交通計画の基本方針(案)として、以下の3つを設定する。</p> <p>基本方針1 町外への円滑な移動を支える幹線の維持・改善</p> <p>基本方針2 利便性と効率性の両立に向けた町内交通の再編・改善</p> <p>基本方針3 利用促進・利用転換による持続可能な公共交通運営</p> <p>なお、令和4年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の活用を見込んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。 ・今回の調査で整理された久山町における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。 ・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、久山町の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。 	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表 (地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：岡垣町地域公共交通協議会

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
岡垣町地域公共交通協議会 【地域公共交通調査事業(計画策定事業)】	<p>【計画策定事業の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状把握・分析 過去の乗降調査や今回新たに乗込み調査を実施し分析を図った ・住民ニーズの把握調査 住民の移動ニーズ把握や分析を行い、今後の公共交通に対する課題を整理した ・効率的見直し(案)の検討 上位関連計画との整合を図りながら今後の公共交通形成に向け、基本的な方針を定めた ・協議会開催 岡垣町地域公共交通協議会4回実施。 今後1回実施 ・計画とりまとめ 	計画通り事業は適切に実施された。	<p>住みよさを実感できるまちづくりを目指していく上で、公共交通が果たす役割を再認識し、持続的な公共交通体系を構築する取り組みを進めるため計画の策定方針や目標を次のとおり定め、その達成に向けた施策・事業を実施する</p> <p>(基本方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①安全で快適な持続可能なまちづくりを支える公共交通 ②地域の活性化や健康増進に繋がる公共交通の利用促進 <p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①安全で快適な移動環境の創造 ②環境に配慮した持続可能な交通環境の形成 ③安心して利用できる公共交通を守る施策の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。 ・今回の調査で整理された岡垣町における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。 ・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、岡垣町の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。 	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：芦屋町地域公共交通計画策定

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
芦屋町地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芦屋町地域公共交通計画策定にあたり、利用者ニーズ把握のための無作為抽出によるアンケート調査を行った。 ・バス車内にアンケート用紙を設置し、最寄り駅での直接聞き取りと合わせ、利用者アンケートを実施した。 ・地域公共交通計画素案の作成 ・地域公共交通会議の開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利用状況について、事業者等と連携し移動実態の現況を整理した。 ・アンケート結果に基づき、JRダイヤ改正に合わせ、接続時間の見直しを行う。 	A	<p>アンケート結果をもとに、以下のとおり公共交通施策事業を定める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス停利用環境の改善のため、バス停調査を実施。必要に応じ、上屋・ベンチ等更新を行う。 ・ICT導入に向け、交通ICカードの導入を図る。 ・町内巡回バスについて、高齢者を中心とした利用者の満足度の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。 ・今回の調査で整理された芦屋町における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。 ・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、芦屋町の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。 	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
行橋市地域公共交通活性化協議会	<p>1.現況整理 地域特性、既存公共交通の現況、上位・関連計画におけるまちづくりの方向性を整理した。</p> <p>2.調査 市民アンケート調査(15歳以上の市民を対象、3,000人無作為抽出)、市内路線バスの利用実態調査(乗込調査)、交通事業者へのヒアリング調査(●社)を実施し、利用意向や将来の方向性等について把握した。</p> <p>3.行橋市地域公共交通計画(案)の作成 各種調査を踏まえ、持続可能な地域公共交通ネットワーク構築に向けた課題や問題点を整理し、計画(案)を取りまとめた。</p> <p>4.協議会開催 計画策定に向けた調査内容や、結果を受けて今後の交通体系のあり方について議論するための協議会を開催した。</p>	<p>当初の計画どおりに事業は適切に実施される見込み。</p>	<p>【補助対象事業名】 行橋市地域公共交通計画策定支援業務</p> <p>【実施時期】 令和3年度末策定予定</p> <p>【基本方針】 1.日常生活を支える公共交通 2.一体的なネットワークとして機能する公共交通 3.社会基盤と機能する公共交通 4.多様な主体により支えあう公共交通</p>	<p>・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>・今回の調査で整理された行橋市における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。</p> <p>・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、行橋市の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
大刀洗町地域公共交通 活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の公共交通に関する現況整理 ・公共交通の利用状況や要望、意見を把握するために、町民を対象にアンケート調査の実施、整理 ・地域内の公共交通の課題整理 ・活性化協議会の開催 ・地域公共交通計画(案)作成 <p>○アンケート調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回収状況608票/1,500票(40.5%) <p>○地域公共交通活性化協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4回実施(うち、書面協議1回) 	A	<p>【補助対象事業名】</p> <p>大刀洗町地域公共交通計画策定支援業務</p> <p>【事業内容】</p> <p>町民アンケート調査の結果や、交通事業者へのヒアリング調査などを踏まえ、公共交通のあり方や本町における公共交通の問題点・課題を整理し、下記の目標を設定、令和3年度中に大刀洗町地域公共交通計画を策定。</p> <p>【実施時期】</p> <p>令和3年6月30日～令和4年3月31日</p> <p>【計画策定の方針】</p> <p>○将来像</p> <p>誰もが公共交通を利用して、行きたい場所へ移動できるまちなの実現</p> <p>○公共交通が果たすべき役割</p> <p>役割1: 広域的な移動ニーズに対応して町内外を結ぶ 役割2: 町内の移動ニーズに的確に対応した使いやすいサービスを提供する 役割3: 自家用車利用を中心とする町民の意識・行動の転換を促す 役割4: 福祉・観光等のまちづくり分野と連携して町の活性化を支える</p> <p>○計画の目標</p> <p>目標1: 既存公共交通による提供サービスの持続・活性化 目標2: 町民の多様な移動ニーズに応じた新たな移動手段の創出 目標3: 多様な関係者の連携による公共交通の利用促進・活性化</p>	<p>・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>・今回の調査で整理された大刀洗町における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。</p> <p>・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、大刀洗町の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
筑後市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筑後市地域公共交通計画の実現化方策の検討 ・筑後市地域公共交通計画の策定 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に検討した計画における目標、施策を踏まえ実現化を図るため、新たな中心循環バスの運行に伴う既存コミュニティ自動車とのすみ分けの検討や幹線交通の運行ルートの見直し検討等を交通事業者を交え実施した。 ・上記の実施結果に基づき、総合的かつ持続的な地域公共交通ネットワーク構築に向けた取り組みの方向性を取りまとめ、パブリックコメントを実施し筑後市地域公共交通計画を作成。 	A	<p>【筑後市地域公共交通計画策定調査業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に検討した筑後市地域公共交通計画(案)における目標、施策を踏まえ実現化するための調査を実施 ・令和4年1月中旬より筑後市地域公共交通計画(案)にかかるパブリックコメントを実施 ・令和3年度中に筑後市地域公共交通計画を策定 <p>【基本方針】</p> <p>方針1:交通事業者が相互に連携した公共交通網 方針2:新たな利用者の獲得による持続可能な幹線公共交通 方針3:身近な移動環境の改善による地域コミュニティの活力維持・向上に資する公共交通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。 ・今回の事業で実施された地域公共交通計画の実現化方策の検討において、設定された目標が達されることを期待します。 ・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、筑後市の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。 	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
佐賀県地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県及び市町の施策・事業内容確認 ・網計画の効果検証・本県を取り巻く公共交通課題の整理(利用者アンケート、ヒアリング等) ・地域公共交通計画(案)のとりまとめ ・協議会開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県地域公共網形成計画に基づく事業の実施状況の整理や、統計データやオープンデータを活用した地域の公共交通の状況の整理を行った。 ・県民および地域公共交通利用者へのアンケート調査や事業者・市町へのヒアリング調査を行い、課題の整理を行った。 ・今後、協議会での検討を経て、佐賀県地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。 	A	<p>佐賀県地域公共交通網形成計画の基本的な方針を踏襲しながら、取組の継続に加え、運行効率化や利便性向上など持続可能性を高める取組を推進、交通事業者・地域・行政の連携体制の強化を行う。</p> <p>①利便性を高める 経路検索、バリアフリー化をはじめ、公共交通を利用するためのあらゆる要素について改善を図り、利便性を高める。</p> <p>②ニーズに応じたサービスに見直す 利用状況に応じたサービスや運行形態への見直し、機能重複の解消、DXによる運行効率化、運行経費の確保など財政面での維持・確保を図る。</p> <p>③利用を促進する 公共交通の利用促進イベント、広報、観光や福祉分野の取組との連携など、公共交通への関心を喚起、利用へ繋げる。</p> <p>④体制を強化する 交通事業者・行政の協議体制の充実、公共交通に携わる人材の育成、収益性の確保、運転手・車両などの運行資源の確保など、公共交通を維持するための体制強化を図る。</p>	<p>・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>・今回の調査で整理された佐賀県内における公共交通の現状や課題を踏まえ、各市町村協議会と連携し、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表 (地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(地域公共交通計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
唐津地域公共交通活性化協議会	<p>公共交通への意識調査及び移動手段の運行実態把握として、住民アンケート・高校生アンケート・乗降調査を実施した。</p> <p>■住民アンケート(65歳以上無作為抽出) 配布数:3,100部 回答数:1,770部</p> <p>■高校生アンケート(WEBアンケート) 対象高校:唐津市及び玄海町の県立高校6校 対象者数:2,430人 回答者数:1,620人</p> <p>■乗降調査 対象路線:平成30年4月に再編した5路線</p> <p>また、調査などの結果をもとに、唐津地域の持続可能な公共交通網の形成にあたっての問題点や課題を整理し、上位計画や関連計画を踏まえつつ、唐津地域の公共交通について今後の基本方針をまとめた。</p>	A	<p>■補助対象事業名 唐津地域公共交通計画策定事業</p> <p>■事業内容 公共交通への意識調査、移動手段の運行実態把握、唐津地域公共交通計画(案)のとりまとめ、協議会開催</p> <p>■実施時期 令和3年5月28日～令和4年3月31日</p> <p>■計画策定の方針 まちづくり・観光・福祉・教育等の様々な分野と連携した公共交通利用策を展開し、唐津地域の住民の生活を支えるとともに、持続可能な公共交通の実現を目指す。</p>	<p>・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>・今回の調査で整理された唐津地域における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 令和3年度地域公共交通調査等事業(地域公共交通計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
多久市地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 法改正、関連事業等の整理 2 地域の概況に関する整理 3 地域交通に関する実態、ニーズ把握調査 4 地域公共交通計画(案)の策定 5 協議会開催 <p>○調査から明らかになった問題点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 佐賀市等市外への移動を支えるJR 唐津線や昭和バスの利用が低迷 2 ふれあいバスの運行経費が増大 3 高齢化の進展に伴い、免許返納が進む中、公共交通に対する市民の評価は低い 4 交通事業者のドライバー不足が深刻 5 新型コロナウイルスによる外出機会の減少、交通事業の経営困難 <p>【結果概要】</p> <p>市民へのアンケート調査及びふれあいバス(自家用有償バス)への乗り込み調査を実施。事業者ヒアリングの結果、利用状況のデータや既存資料も併せて現況を整理。調査の結果をもとに現状の課題や問題点を整理し、基本方針を定めた。基本方針をもとに目標を設定し、目標達成に向けた施策の検討を行った。</p>	A	<p>【計画策定の方針】</p> <p>調査から明らかになった問題点・課題を踏まえ、「ふれあいバス・タクシー」の見直しの考え方や、幹線系統バスと鉄道の役割などを検討し、本市に適した公共交通の基本方針をまとめる。</p> <p>基本方針を踏まえ、目標を設定し、目標達成に向けた施策の検討、施策の事業主体、スケジュール等を整理し、「地域公共交通計画(案)」としてとりまとめる。</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 交通サービス及び利用環境の充実を図り、利便性を高める 2 ふれあいバス・タクシーのサービスの適正化や路線バスへの財政支援により、持続可能性を確保する 3 公共交通の積極的な利用の啓発を推進する 4 まちづくりとの連携、近隣市町・県・国、交通事業者との連携の推進 	<p>・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>・今回の調査で整理された多久市における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。</p> <p>・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、多久市の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(地域公共交通計

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
鹿島市地域公共交通活性化協議会	<p>(事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 概況整理 現状分析、課題の整理 計画の策定 会議の運営支援 <p>(結果概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地理的状況、人口・世帯状況、主要施設の立地状況など基礎的なデータ整理、総合計画や立地適正化計画との関連を整理した。 既存計画の達成状況の整理ほか、市民アンケート調査をはじめとする公共交通に関する各種調査をおこない、集計・分析のうえ、課題等の整理をした。 基本方針(将来像)、計画方針、実施事業など策定中。令和4年3月の完成を目指す。 	A	<p>(補助対象事業名)</p> <p>鹿島市地域公共交通計画策定業務</p> <p>(事業内容)</p> <p>現状把握・整理、現状分析・問題課題抽出、基本方針・計画目標・数値指標の検証、目標達成に向けた施策の検討、計画策定、会議支援</p> <p>(実施時期)</p> <p>令和4年3月策定予定</p> <p>(計画方針)</p> <p>既存公共交通網の見直しや交通空白地の解消など公共交通網の再構築、西九州新幹線開業後の新たな広域移動を支える交通網の維持・改善、JR肥前鹿島駅前周辺整備全体構想など市の活性化に寄与する交通ネットワークの充実、運行内容など分かりやすい情報提供や高齢者や若年層への利用促進への取り組み等により持続可能な交通ネットワークの推進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で整理された鹿島市における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。 また、地域公共交通計画の実行に当たっては、鹿島市の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。 	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(地域公共交通計画策定事

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
嬉野市地域公共交通活性化協議会	<p>事業内容: 地域公共交通の新たなマスタープランとなる「嬉野市地域公共交通計画」を策定した。</p> <p>結果概要: ・市民生活に必要な移動手段を確保・維持していくことが必要 ・公共交通ネットワークの持続性を高めていくことが必要 ・新幹線や高速バスなどの高速交通体系を有効に活用していくことが必要 ・周辺市町と連携しながら取り組みを進めていくことが必要</p>	A	<p>補助対象事業名: 嬉野市地域公共交通計画策定業務</p> <p>事業内容: ・基本的な方針の検討 ・課題解決のための具体的施策の検討 ・計画の評価方法、推進方法の検討 ・乗り継ぎ環境調査 ・交通事業者ヒアリング調査 ・公共交通計画の取りまとめ ・協議会開催</p> <p>実施時期: 令和3年6月1日から令和4年3月25日まで</p> <p>調査結果を受けた計画策定の方針: ・多様な移動サービスを「適材適所」で組み合わせ、効率的で持続性の高い公共交通 ・まちづくりや観光等の関連分野との連携による、社会の「基盤」として機能する公共交通 ・周辺市町との連携による、市民・来訪者等の広域的な移動・周遊を支える公共交通 ・新幹線・高速バスなどの高速交通体系を嬉野市の“強み”として活かす公共交通 ・行政や交通事業者はもとより、地域や利用者等も含む多様な主体により支え合う公共交通</p>	<p>・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。 ・今回の調査で整理された嬉野市における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。 ・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、嬉野市の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表 (地域公共交通調査等事業)

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(地域公共交通計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果
吉野ヶ里町地域公共交通活性化協議会	<p>下記調査を実施し、町民の移動手段の実態やニーズを把握し、課題や今後の方向性を検討した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者アンケート調査 民生委員による訪問での聞き取り調査。回答数265人 ○民生委員アンケート調査 民生委員へのアンケート調査。回答数24人。 ○高校生保護者アンケート調査 16～17歳の子を持つ保護者へのWEBアンケート調査。回答数120人 ○コミュニティバス乗り込み調査 全便へ乗車し、聞き取りアンケートを行った。 ○輸送資源実態調査 福祉有償運送を行っている団体と病院・クリニックを対象にFAXと電話によるアンケート調査を行った。 	A	<p>地域公共交通計画策定事業 R4年4月～R10年3月 目標方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域公共交通サービスの最適化 ②自家用車に頼らない歩けるまちづくり ③観光来訪の促進 ④関係者相互の連携向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。 ・今回の調査で整理された吉野ヶ里町における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。 ・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、吉野ヶ里町の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 令和3年度地域公共交通調査事業(計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
基山町地域公共交通 活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の公共交通に関する状況調査・把握 ・地域住民の移動ニーズ調査 ・地域内の公共交通に関する課題整理 ・地域公共交通計画(案)作成 <p>○調査から明らかになった問題点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.高齢者の移動サービスの不足 2.鳥栖市や筑紫野市などの隣接市までの公共交通サービスの不十分さ 3.コミュニティバスと鉄道駅との乗継環境や観光施設へのアクセス性の悪さ 4.コミュニティバスの非効率な運行 5.コミュニティバスの公共交通の経費面での持続性の確保 6.コミュニティバスの利用促進施策の不足 7.福祉や観光などの他分野との連携の不足 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民アンケート調査・コミュニティバスの利用調査、町内の運行事業者ヒアリングの結果、公共交通利用状況のデータや既存統計資料も併せて現況を整理。 ・上記調査結果等に基づき、今後の持続可能な旅客運送サービスの提供に向けた課題や問題点を整理すると共に、公共交通の活性化・再生に向けた取り組みの方向性を検討。 ・以上の内容を踏まえ、基山町地域公共交通計画(案)を作成。 	A	<p>【計画策定の方針】</p> <p>調査から明らかになった「移動サービス・アクセス性の問題点」「他分野と連携した地域公共交通サービスでの問題点」「公共交通の持続可能性、利用環境等に関する問題点」を踏まえつつ、コンパクト・プラス・ネットワーク構想からのまちづくりから求められる公共交通機能を考慮したものとする。</p> <p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりと連携した地域公共交通サービス ・誰もが使いやすい地域公共交通サービス ・みんなで支える地域公共交通サービス ・まちの魅力を引き立てる地域公共交通サービス ・持続可能な地域公共交通サービス 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。 ・今回の調査で整理された基山町における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。 ・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、基山町の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。 	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:大町町地域公共交通計画策定事業

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
大町町地域公共交通会議	<p>◇利用実態及びニーズ把握調査 大町町の町内巡回バス利用に関する利用実態・要望等の把握を目的に調査員による直接乗り込み調査を2日間実施。</p> <p>◇交通事業者ヒアリング調査 大町町で公共交通機関を提供している交通事業者等(鉄道、バス、タクシー)へ直接ヒアリングを実施し、意見や要望等の整理を行った。</p> <p>◇地域の公共交通計画(案)のとりまとめ調査結果をもとに、上位計画での地域公共交通の位置づけを踏まえながら、地域公共交通のあるべき姿を検討し、「大町町地域公共交通計画案」の整理を行う。</p> <p>◇地域公共交通会議を開催 大町町地域公共交通会議を開催(大町町地域公共交通会議5回実施(内書面協議1回)) 今後は1回開催予定。</p>	A	<p>【補助対象事業名】 大町町地域公共交通計画策定事業 (計画策定事業)</p> <p>【事業内容】 (1)地域公共交通計画策定に関する調査・検討 1)現状把握および課題の整理 2)計画(案)の作成 3)パブリックコメント 4)計画(案)の修正 5)計画書等作成 (2)会議に関する資料作成 (3)打ち合わせ・協議</p> <p>【実施期間】 令和3年7月19日～令和4年3月31日</p> <p>【基本理念】 町民の暮らし交流を支える持続可能な地域公共交通</p> <p>【基本方針1】 快適な暮らしを支える地域公共交通を目指します。</p> <p>【目標1】 地域住民と協働した、ともに考える公共交通サービスの実現</p> <p>【基本方針2】 まちのにぎわいをつくる地域公共交通を目指します。</p> <p>【目標2】 事業者や周辺地域と共生した、発展する公共交通サービスの実現</p> <p>【基本方針3】 ずっと暮らせる持続可能な地域公共交通を目指します。</p> <p>【目標3】 これからの社会と適合した、効果的・効率的な公共交通サービスの実現</p>	<p>・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>・今回の調査で整理された大町町における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。</p> <p>・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、大町町の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(地域公共交通計

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
五島市地域公共交通活性化再生協議会	<p>【事業内容】</p> <p>1 五島市現状把握調査</p> <p>2 課題分析</p> <p>3 協議会開催</p> <p>4 計画素案のとりまとめ</p> <p>【結果概要】</p> <p>調査会社へ委託し、市民アンケートや交通事業者への聞き取りなどを行った結果、解決すべき課題が見つかり、それを元に方針を決定した。</p>	A	<p><補助対象事業名></p> <p>地域公共交通調査事業(地域公共交通計画策定事業)</p> <p><事業内容></p> <p>五島市地域公共交通計画策定業務</p> <p><実施時期></p> <p>令和4年4月～令和9年9月</p> <p><計画策定の方針></p> <p>しまの生活と地域経済・交流を支える持続可能な公共交通</p>	<p>・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>・今回の調査で整理された五島市における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。</p> <p>・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、五島市の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(地域公共交通計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
松浦市地域公共交通 活性化協議会	<p>(1)地域内の公共交通に関する現況調査及び将来予測</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市の地理的条件や道路網の状況、人口分布、施設立地(病院、公共施設、商業施設)など、地域特性を把握・整理し人口統計に基づく利用者の将来予測を行った。 既存の公共交通の運行状況を整理した。 交通機関事業者へのヒアリングを行った。 既存路線見直しにかかるシミュレーション及び影響調査を行った。 <p>(2)地域住民のニーズ把握</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民を対象としたアンケート調査等により、住民の移動先、時間帯、手段などを網羅的に把握し、地域全体の移動需要を整理した。 <p>(3)松浦市地域公共交通計画(案)のとりまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> 現況調査及び住民ニーズ把握調査等の結果を基に、持続可能な公共交通網の形成にあたっての問題点及び課題を整理し、上位計画や関連計画を踏まえつつ、地域にとって望ましい公共交通網のあり方についての『基本方針』をまとめた。 基本方針に沿って持続可能な公共交通網の形成に向けた目標、事業の実施主体、スケジュールなどを具体的に反映させた計画を取りまとめた。 <p>(4)協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画策定に向けた調査内容及び調査結果を受けて今後の交通体系のあり方について議論するための協議会を開催した。 	A	<p>1)補助対象事業名</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通計画策定事業 <p>2)事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 松浦市地域公共交通計画策定業務 <p>3)実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度～令和8年度 <p>4)調査結果を受けた計画策定の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 松浦市に住み続けるための持続可能な公共交通ネットワークの実現 	<ul style="list-style-type: none"> 今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で整理された松浦市における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。 また、地域公共交通計画の実行に当たっては、松浦市の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。 	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査等事業(地域公共交通計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
宇土市地域公共交通 活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現況の把握・課題の整理 ・課題検証のための調査 ・地域公共交通計画(案)の策定 ・協議会開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の現状(地域特性, 公共交通現状, 上位関連計画)及び他自治体・国の動向を把握し, 課題の整理を行った。また, 本市の特徴である7地区に分けたカルテを作成し, 地区ごとの分析も行った。 ・上記で整理した課題を検証するため, 市民・高校生アンケートや交通事業者ヒアリング等を実施し, 地域のニーズ及び実態を把握。 ・これらを基に, 持続可能な地域公共交通を構築するため, 市が目指す将来まちづくりの方針を示した「地域公共交通計画(案)」を取りまとめた。 ・協議会を4回(予定)開催し, 関係者との合意形成を行った。 	A	<p>R3.12に協議会で素案を審議。R4.1～2パブコメ後, R4.2に最終案を協議会で図る予定。</p> <p>【基本的な方針】 地域公共交通が果たすべき役割を踏まえ, 本市が有する可能性(ポテンシャル)を創出し, 持続的なまちの発展を目指すことを念頭に, 以下の通り設定。 「地域公共交通が“輝く”まち・宇土-地域みんなで魅力的な地域公共交通を創出します-」</p> <p>【計画の目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①移動ニーズを踏まえつつ, まちづくりと連携した一体的な地域公共交通体系の構築 ②地域が一丸となった持続可能な地域公共交通サービスの提供 ③交通弱者に配慮したきめ細かい地域公共交通サービスの提供 ④地域公共交通の利用促進・需要創出に向けた機会づくり ⑤地域・行政・交通事業者の連携・協働による地域公共交通づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回実施された調査事業は, 適切に実施されているものと考えられます。 ・今回の調査で整理された宇土市における公共交通の現状や課題を踏まえ, 多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。 ・また, 地域公共交通計画の実行に当たっては, 宇土市の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ, 地域の理解を得ながら, 施策が着実に実施されることを期待します。 	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(地域公共交通計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
御船町地域公共交通 活性化協議会	<p>○協議会開催の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回御船町地域公共交通活性化協議会 (協議会の設置及びプロポーザルによる業者選定について) ・第2回御船町地域公共交通活性化協議会 (計画策定の進め方及び住民意向調査の実施について) ・第3回御船町地域公共交通活性化協議会 (住民意向調査の結果報告及び地区別懇談会について) ・第4回御船町地域公共交通活性化協議会 (地区別懇談会の結果報告及び具体的施策の検討について) ・第5回御船町地域公共交通活性化協議会 (御船町地域公共交通計画の素案について) <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①住民意向調査 ・町民アンケート 回収状況:1,873票/4,900票(回収率38%) ・高校生アンケート 回収状況:299票/330票(回収率91%) ・公共交通利用者アンケート 回収状況:119票(うちWEB投票36票) ・バス乗降者数調査(環境調査を含む) ②地区別住民懇談会(10地区) ③庁内関係部署WG ④御船町公共交通の将来構想の検討 ⑤協議会開催 <p>○協議会が抱える課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種調査からも分かるとおり、御船町は全体的に公共交通に対する関心が全体的に低い。併せて、人口減少を主な理由とする利用者の減少や公共交通を支える交通事業者の運転士の高齢化など今後の地域公共交通を持続可能なものとしていくべきに必要な要素が不足している。将来を見据えた利便性のよい公共交通網及び公共交通サービスを模索し施策として実施することが必要である。 	A	<p>○補助対象事業名 御船町地域公共交通計画策定事業</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①住民意向調査 ②地域別住民懇談会 ③庁内関係部署WG ④計画(案)の取りまとめ ⑤協議会開催 <p>○実施時期 令和3年7月～令和4年3月</p> <p>○計画策定の方針 町の将来像である「みんながわくわくする御船町」の実現と併せて公共交通を利用したくなる老若男女を問わない「おでかけ」に目を向けた効率的な公共交通体系の構築を行い、観光事業、地域づくり事業、その他分野との連携も見据えた持続可能な公共交通網を形成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。 ・今回の調査で整理された御船町における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。 ・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、御船町の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。 	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査等事業(地域公共交通計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
大津町地域公共交通 会議	<p>【事業内容】</p> <p>(1)公共交通体系の現状分析 (2)町民ニーズの把握調査(アンケート調査) (3)公共交通利用者ニーズ調査 (4)地域公共交通計画(案)の作成 (5)協議会の運営</p> <p>【調査事業の結果概要】</p> <p>(1)現状の公共交通体系を整理し、利用状況やサービス提供状況等の分析を実施。 (2)町民の生活行動に基づく公共交通サービスの最適化、公共交通の利便性向上と需要の掘り起こしに向けて、町民の移動実態を正確に把握した。 (3)駅利用者ヒアリング調査、路線バス乗降調査、乗合タクシー利用者アンケート調査、高齢者世帯訪問調査を実施し、公共交通利用者の特性やニーズ、現状のサービスに対する満足度、改善を期待する内容等を把握した。 (4)(1)～(3)の内容を踏まえて、地域公共交通に関する問題・課題の整理、取組の方向性を検討し、地域公共交通計画(案)をとりまとめた。 (5)地域公共交通会議を1回実施。(令和4年1月末時点)今後は3回開催予定。</p>	A	<p>本計画では、まちのにぎわいを支える交通環境の充実として、利便性・効率性の高い持続可能な公共交通体系の構築を図るとともに、使う人の視点・生活行動等に基づく公共交通サービスの全体最適化を目指します。広域的なネットワークについては、周辺市町村と連携しながら公共交通サービスの維持・活性化を図ります。また、サービスの見直しと同時に、多様な関係者と連携した利用促進を進め、町民自らが協働して創り育て上げるサービスを目指します。</p> <p>基本的方針①：コンパクトな都市づくりにつながる持続可能な公共交通の構築 ・既存公共交通における提供サービスの維持・活性化 基本的方針②：輸送資源の総動員による相互の連携強化 ・公共交通＋その他輸送資源を活用した町民の生活行動に係る移動支援 基本的方針③：使う人の視点に合わせた交通サービスの充実 ・利用実態を踏まえた既存サービスの改善、町中心部を回遊する新たな交通の検討 基本的方針④多様な関係者との連携により地域で守り育てる公共交通の実現 ・町民、行政、事業者を含めて町の交通を考える機会の創出、利用促進の企画</p>	<p>・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。 ・今回の調査で整理された大津町における公共交通の現状や課題を踏まえ、コンパクトな都市づくりにつながる持続可能な公共交通の構築交通体系の構築がなされることを期待します。 ・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、大津町の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。</p>	

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)**

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 令和3年度地域公共交通調査事業(計画)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
臼杵市地域公共交通活性化協議会	<p>市内の高齢者の移動については、移動機会が増えており、地域の行事等での移動については困りごとが減っているという結果がでたが、バスの利用者については減少している。</p> <p>また、求める支援策についても、公共交通の維持確保以外に、無料送迎の拡大なども多かったため、既存の事業だけではない方法も含めて、住民の移動を確保しなくてはならない。</p>	A	<p>既存の公共交通サービスを最大限に活用した上で、民間事業者による送迎サービスなどの多様な輸送資源を活用し住民の移動を確保する。</p> <p>また、地域の拠点も交通拠点ととらえ、各地域の拠点と市外地を結ぶ交通ネットワークを形成する。</p> <p>また、利用者の拡大にむけ、ミックスメディアによるモビリティマネジメントを実施する。</p>	<p>・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>・今回の調査で整理された臼杵市における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。</p> <p>・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、臼杵市の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表 (地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
玖珠町地域公共交通活性化協議会	地域公共交通の利用者が減少する中、行政、事業者、関係機関、利用者等の意見を聞きながら、玖珠町のスクールバスをはじめとした輸送資源を総動員し、利用者の利便性の向上や観光客をターゲットとした2次交通等新たな利用者の獲得を図りながら、持続可能な地域公共交通を形成するための計画を作成するもの。	B	既存の利用者の利便性や新たな利用者(高校生や自家用車を持たない高齢者等)の獲得を図り、持続可能な地域公共交通を目指す。地域公共交通を、まちづくりの一環として取組み、玖珠町第6次総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画と整合のとれた玖珠町の地域公共交通のマスタープランとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。 ・今回の調査で整理された玖珠町における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。 ・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、玖珠町の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。 	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表 (地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
竹田市地域公共交通 確保維持協議会	<p>事業内容及び結果概要</p> <p>【住民アンケート】 住民基本台帳より、2,000名を無作為抽出しアンケートを送付。回収796件(回収率：40%) ・予約型公共交通のニーズが高い。 ・400円程度であれば、利用したいとの意向あり。 ・自家用車での移動が主。</p> <p>【高校生アンケート調査】 市内3校に対しアンケート調査を実施。 ・メインは親の送迎。・休日は都市圏へ向け利用。</p> <p>【乗降調査(バス/JR)】 市内路線バス・コミュニティバスのOD調査を実施。 ・朝夕の時間帯の利用がメイン。 ・日中も豊後大野市への移動利用あり。</p> <p>【ワークショップ・集落調査】 交通について考えるワークショップの開催。アンケート調査補完のため、特定集落での調査。</p>	A	<p>補助対象事業者名、事業内容、実施時期等は3月公表に向けて調整中。</p> <p>計画策定の方針 安心して暮らすことができ、訪れたい・住みたいと感じる魅力あふれるまち「たけた」～まちづくりと連携した持続可能な移動サービスモデルの実現～</p> <p>・適材適所への公共交通サービスの提供 ・竹田の魅力向上に寄与する公共交通 ・まちづくりとの連動による持続的な地域の形成 ・持続的な交通に向けた輸送資源相互の連携</p>	<p>・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。 ・今回の調査で整理された竹田市における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。 ・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、竹田市の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
中津市公共交通会議	<p>○中津市地域公共交通網形成計画の評価 ・計画事業は全て着手しており、地域公共交通のサービス見直しにかかる事業は全て実施しており、利用促進においては、「ICTを活用した効率的な公共交通情報の提供」は研究・検討したが、コスト面等の課題解決がクリアにならず、実施には至らなかった。 ・網計画の数値目標は計画最終年度(H30)路線バス・コミバスの目標について、コミュニティバスの年間利用者数及び路線バス・コミュニティバスの1便当たりの平均利用者数の2指標は、達成しているものの、1人あたり財政負担額は増加傾向にあり、運賃収入の増加や値上げ等も今後考えていくことが必要である。 H29年度をピークに利用減少傾向にあるコミバスに対し、H30年度以降増加傾向にある。 中日線はR2年度には目標達成しており、今後もその維持活性化が不可欠である。</p> <p>○バスの不便地域における真に移動手段を必要とする以下の住民の抽出 ・バス停勢力圏内に居住しているにも関わらず、新たな移動サービスを今すぐ必要とする後期高齢者の存在。 ・タクシーの営業拠点から離れておらず、タクシーをすぐに利用できる環境の中における幅広い年齢層のニーズの存在。 ・タクシー営業拠点から2km以上離れており、迎車料金の徴収が可能なエリア(タクシーがすぐに利用しにくい環境下)におけるバス勢力圏内の後期高齢者の移動ニーズの存在。</p>	A	<p>○今後の中津市に求められる公共交通の課題と解決のあり方検討 日常生活施設運営者意向調査、公共交通の課題の整理、バス・タクシーの効果的な運用のあり方検討を行い、計画策定を目指す。</p> <p>○上位計画「第5次総合計画」や関連計画「立地適正化計画」等との整合性 市の上位計画である「第5次総合計画」の方針に沿った地域公共交通計画の策定に努める。また、関連計画との整合性を図りながら、地域ニーズにあった計画を目指す。</p>	<p>・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。 ・今回の調査で整理された中津市における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。 ・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、中津市の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 別府市地域公共交通計画策定調査業務

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
別府市公共交通活性化協議会	別府市地域公共交通計画策定調査 ・地域公共交通の現状把握、課題整理 ・地域公共交通の将来像の検討・整理 ・別府市地域公共交通計画案の検討・とりまとめ ・協議会開催	A	本市が目指すまちづくり方針と連動した拠点＋公共交通ネットワークの形成を見据え、公共交通サービスの利便性や効率性の向上を検討し、本市にとって望ましい持続可能な公共交通ネットワークの全体像を提示する。	<ul style="list-style-type: none"> ・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。 ・今回の調査で整理された別府市における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。 ・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、別府市の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。 	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
豊後大野市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通の現況と課題整理 市内の交通資源の運行状況等を調査。 住民アンケート調査 573票回収(紙542票、Web31票) 利用者ヒアリング調査(コミバス運営協議会) 運営協議会において議論・検討。 モニタリング調査(住民の利用実態) コミュニティバス(毎月)、路線バス(3ヶ月に1回)の利用データを分析。 高校生(保護者)アンケート調査 高校生の公共交通の利用状況や利用ニーズ・利用可能性等を調査。 公共交通網形成計画の検討・策定 上記調査結果等を踏まえて、地域公共交通計画を策定。 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現況調査により、路線バス、コミュニティバス、スクールバス、病院送迎など、多様な交通資源が重複して運行されていることを把握した。 住民アンケート調査により、見直しの方向性として「運賃の見直し(値上げ)」が一番多く、減便やルートの短縮等はあまり望まれていないことを把握した。 利用者ヒアリング調査により、バス停を分かりやすくしたり、乗り方教室や体験乗車の機会を設けるなど、地道な利用促進策の継続が必要であることを把握した。 モニタリング調査により、利用の少ない路線(路線バス・コミュニティバス)を把握した。 	A	<p>地域公共交通計画の基本方針(案)として以下の3つ、実施事業として以下の13の事業を設定する。</p> <p>1)幹線の再整理に基づく公共交通サービスの最適化</p> <ol style="list-style-type: none"> 市内公共交通網(幹線)の再整備(路線バス、コミバスの再編) 交通結節点の整備とそれに伴う運行の見直し 車両の有効活用と更新 継続的なモニタリングによる適切な見直し <p>2)枝線・枝葉部分での需給に応じた多様な移動手段の確保</p> <ol style="list-style-type: none"> 市内公共交通網(枝線・枝葉)の再整備(路線バス、コミバス、あいのり、タクシー等既存の交通モードを含む輸送資源の総動員) 多様なパートナーとの連携による新たな地域交通づくり(地域での新たな輸送手段の検討等) デマンド乗合タクシー運行内容の見直し <p>3)持続可能な公共交通のための利用促進策の実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 運賃施策の検討・実施による利用促進 多様な団体と連携した公共交通利用促進 デジタル技術を活用した利用促進 分かりやすく見やすい情報発信による利用促進 JRとバスの連携およびJRの利用促進 公共交通を支える組織づくり <p>なお、令和4年度確保維持事業(地域内フィーダー系統)の活用を見込んでいる。</p>	<p>・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>・今回の調査で整理された豊後大野市における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。</p> <p>・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、豊後大野市の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 令和3年度地域公共交通調査等事業

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
始良市地域公共交通会議	始良市の地域特性及び公共交通の現状把握、市民の利用実態やニーズ把握調査(各種アンケート実施)、将来構想に向けた分析・検討の実施等を業務内容としており、現在、計画策定に向け、協議会に素案を提出し、委員の方に意見をいただき、計画案を作成している状況である。	A	地域公共交通計画は、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の一部改正に基づき、あらゆる世代のライフスタイルや移動ニーズの変化を考慮した地域公共交通サービスの提供に資するために計画を策定中である。また、地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域公共交通調査等事業)の交付決定を令和3年5月28日(九運交企第45号)にいただき、現在、計画策定に向けて協議を重ねており、令和3年度中の完成を目指す。	<p>今回、交付決定を受け実施した調査事業に関しては、事業内容・事業実施時期等に関して、概ね適切に取り組まれているものと思料致します。</p> <p>また、コロナ禍の現況を考慮して、協議会の開催方法を工夫し、柔軟かつ丁寧に合意形成を心がけていることも評価できます。</p> <p>加えて、時間的制約がある中で、地域公共交通計画の内容の充実を図るために、同計画の構成上、前提となる現状に関する箇所について、他の目的・用途で収集又は作成した既存の調査物や分析結果等を、可能な限り活用するという工夫を講じていることも評価できます。</p> <p>なお、今後の地域公共交通計画の策定にあたっては、第2次始良市総合計画等上位・関連計画との整合を取りつつ、地域特性のみならず、費用面やコロナ禍の影響等も考慮した計画目標の設定を検討されるとともに、策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 令和3年度地域公共交通調査事業(計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
南さつま市地域公共交通協議会	<p>■事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通の現状把握・課題の整理 ・公共交通機関利用者における移動実態及びニーズの把握 ・住民移動の実態及びニーズの把握 ・現状把握及び課題整理を踏まえた対応策の提案 <p>■結果概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域特性、地域公共交通の現状及び市民意向等の把握を行い、地域公共交通の問題点及び課題を整理した。 ・また、結果を踏まえ、本市の公共交通のあり方及び今後の取り組みの方向性並びに施策について検討した。 ・地域の移動実態やニーズに適した地域内交通の運行見直し等について検討し、協議会に諮るための計画素案を作成した。 	A	<p>持続可能な公共交通を維持するために、路線バスとコミュニティバス等との役割を明確にするとともに、地域の移動実態やニーズに適した地域内交通の運行見直しや、市街地の公共交通空白地の解消とまちづくりに適した公共交通のネットワーク形成に取り組めます。</p> <p>また、市民、事業者及び行政といった様々な主体と連携した地域公共交通のマネジメントなどの利用促進策に取り組むとともに、多様な輸送資源の活用による交通サービスの確保に向けて検討します。</p>	<p>今回、交付決定を受け実施した調査事業に関しては、事業内容・事業実施時期等に関して、適切に取り組まれているものと思料致します。</p> <p>また、コロナ禍の現況を考慮して、協議会の開催方法を工夫し、柔軟かつ丁寧な合意形成を心がけていることも評価できます。</p> <p>なお、今後の地域公共交通計画の策定にあたっては、第2次南さつま市総合振興計画の後継計画等上位・関連計画との整合を取りつつ、持続可能性を踏まえた利用促進や地域特性を踏まえた多様な輸送資源の活用の観点に加え、費用面やコロナ禍の影響等も考慮した計画目標の設定を検討されるとともに、策定後においては同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	<p>【事業内容】 (1) 公共交通を取り巻く状況の把握 (2) 現計画の効果検証 (3) 公共交通の問題点・課題の整理 (4) 地域公共交通計画(案)の策定 (5) 地域公共交通協議会の開催</p> <p>【結果概要】 (1) ・上位・各種計画等を基に公共交通の位置づけ等を整理している。 ・既存資料等を基に市内人口分布や商業・医療施設等の立地状況等を整理している。 ・市民アンケート、路線バス乗込調査等を実施し、移動特性や公共交通に対するニーズを把握している。 ・交通事業者ヒアリング調査により、交通事業者の現状等を把握し、また市内商業・医療施設等へのアンケート調査により、実施している輸送サービスを把握している。 (2) 市民アンケート、公共交通利用者ヒアリング、交通事業者ヒアリング調査等を基に、現計画に基づくコミュニティバス運行の効果等を検証。 (3) (1)、(2)を基に、本市の公共交通の問題点・課題を整理する。 (4) 上記を踏まえ、本市にとって望ましい「南九州市公共交通計画」を作成する。 (5) 現在協議会を1回実施している。今後は2回開催予定。</p>	B	<p>本市域では、鉄道1路線、路線バス10系統、コミュニティバス43系統、タクシー4事業者等の公共交通が運行しているが、利便性、認知度を始めとする様々な問題・課題等があり、公共交通の利用は限られている。また、人口減少に伴い利用者も減少を続けている状況にある。</p> <p>調査事業については現在、一部市民アンケートを追加で調査しており、その結果等を踏まえて、基本方針や実施事業等を取りまとめることで、多様な公共交通の連携による効率的な公共交通体系を構築すると共に、地域の特性に合った公共交通サービスによる、市民のニーズに合った効果的な交通サービスを提供することを目的として、「南九州市地域公共交通計画」を策定する。</p> <p>なお、令和3年度中に、計画についての協議会案を策定し、令和4年度初めのパブリックコメント実施を経て、南九州市地域公共交通計画を策定する。</p>	<p>今回、交付決定を受け実施した調査事業に関しては、事業内容・事業実施時期等に関して、概ね適切に取り組まれているものと思料致します。</p> <p>また、コロナ禍の現況でを考慮して、協議会の開催方法を工夫し、柔軟かつ丁寧に合意形成を心がけていることも評価できます。</p> <p>なお、今後の地域公共交通計画の策定にあたっては、第2次南九州市総合計画や第2期南九州市創生総合戦略等上位・関連計画との整合を取りつつ、地域特性に加えて、費用面やコロナ禍の影響等も考慮した計画目標の設定を検討されるとともに、策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査等事業

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
日置市地域公共交通会議	<p>1. アンケート調査 回答率47.4% (市民2,500人、高校4校、観光客30名)</p> <p>2. 将来構想の提案 ・アンケート調査結果、本市の地理的、人口データを踏まえた将来構想の提案を受けた。</p> <p>3. 先進事例調査 ・他自治体の先進事例を調査し、本市に合った事例の報告を受けた。</p>	A	<p>調査結果を受け、計画策定の方針を次のとおり定める。 《形成方針》 「誰もが利用しやすく 地域全体で作り上げる持続可能な交通環境のまち」 《基本方針》 ① 市民が安心して暮らせる交通体系の構築 ② 誰もが乗りたくなる魅力ある交通まちづくり ③ 関係主体の連携による交通環境づくり</p>	<p>・今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。 ・なお、法定協議会における合意形成のあり方として、ワークショップの手法を取り入れていることは評価できます。 ・今後、今回の調査で整理された日置市における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。 ・また、地域公共交通計画の実行に当たっては、日置市の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(地域公共交通計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
枕崎市地域公共交通 活性化協議会	<p>【名称】枕崎市地域公共交通計画策定支援業務 【事業内容と結果】 (1)法改正, 関連事業の整理 (結果)総合振興計画等, 本市の上位計画との関連を整理及び公共交通に求められる役割(案)を次のとおり3つに整理 役割①市中心部をはじめ市内外の移動を支援し, 市民の生活を支える役割 役割②多様な人の流れを生み出し都市の活力につなげていく役割 役割③まちづくりなども連携し, 都市の持続性向上を推し進める役割 今後, 適切な関連事業等を整理する。 (2)地域概況に関する整理 (結果)人口密度, 高齢化率, 施設立地, 交通空白地域, 交通不便地域(時間的空白地域)等を調査しマップ化。人口動態や高齢化率, 観光入込客数等は, 今後の推計を含めて時系列でまとめた。そのうえで, 課題を整理した。 課題①市民生活に必要な移動手段を確保・維持していくことが必要 課題②公共交通ネットワークの持続性を高めていくことが必要 課題③周辺市町と連携しながら一体的に取り組みを進めていくことが必要 今後, 考察を深める。 (3)地域交通に関する実態, ニーズ把握調査 (結果)アンケート及び乗込み調査を実施 ①市民アンケート 回収 40.6%(1,218/3,000) ②民生委員アンケート 回収 91.2%(52/57) ③高校生名アンケート 回収 35.0%(50/143) 今後, 考察を深める。 (4)地域公共交通計画(案)の策定 未着手(工程の後半で実施予定・年度内) (5)協議会の開催 第2回協議会を開催し, 基本方針(案)が承認された。</p>	A	<p>公共交通の基本方針(案) 基本方針① 行政や交通事業者はもとより, 地域や利用者等も含む多様な主体で支え合う公共交通 基本方針② 様々な移動サービスの役割分担と組み合わせによる効率的*で持続性の高い公共交通 基本方針③ まちづくりや観光等の関連分野との連携による, 社会の「基盤」として機能する公共交通 基本方針④ 近隣市町との連携による, 市民や来訪者等の移動・広域周遊を支える公共交通</p> <p>※ここでいう「効率的」とは経済合理性ではなく, 事業者の負担と利用者の利便性(不便性)のバランスが保たれている状態を指す。</p>	<p>・今回実施された調査事業は, 適切に実施されているものと考えられます。 ・今回の調査で整理された枕崎市における公共交通の現状や課題を踏まえ, 多様な交通モードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。 ・また, 地域公共交通計画の実行に当たっては, 枕崎市の上位計画等を踏まえた長期的な視点や観光客の視点も考慮しつつ, 地域の理解を得ながら, 施策が着実に実施されることを期待します。</p>	